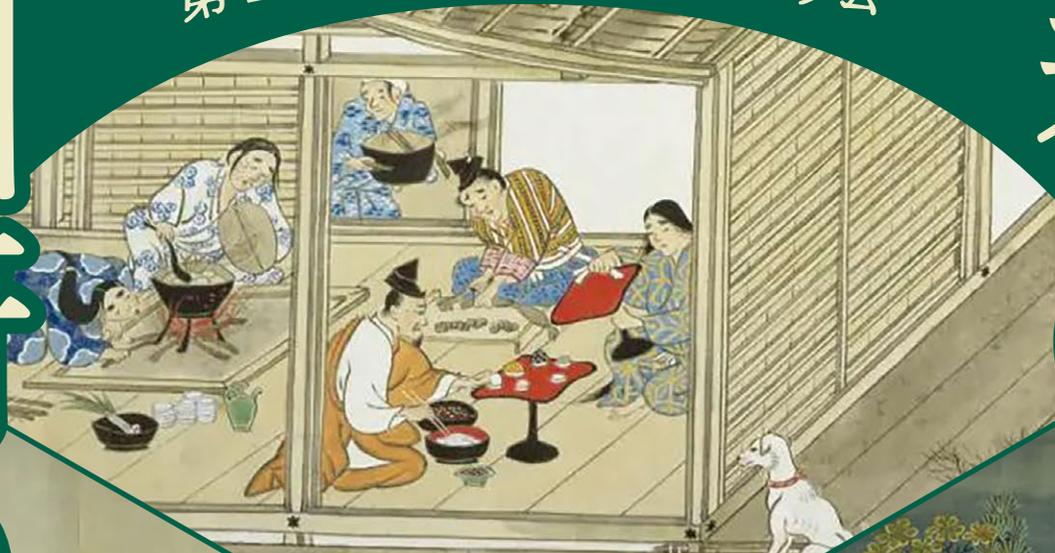


# 国府のくらし

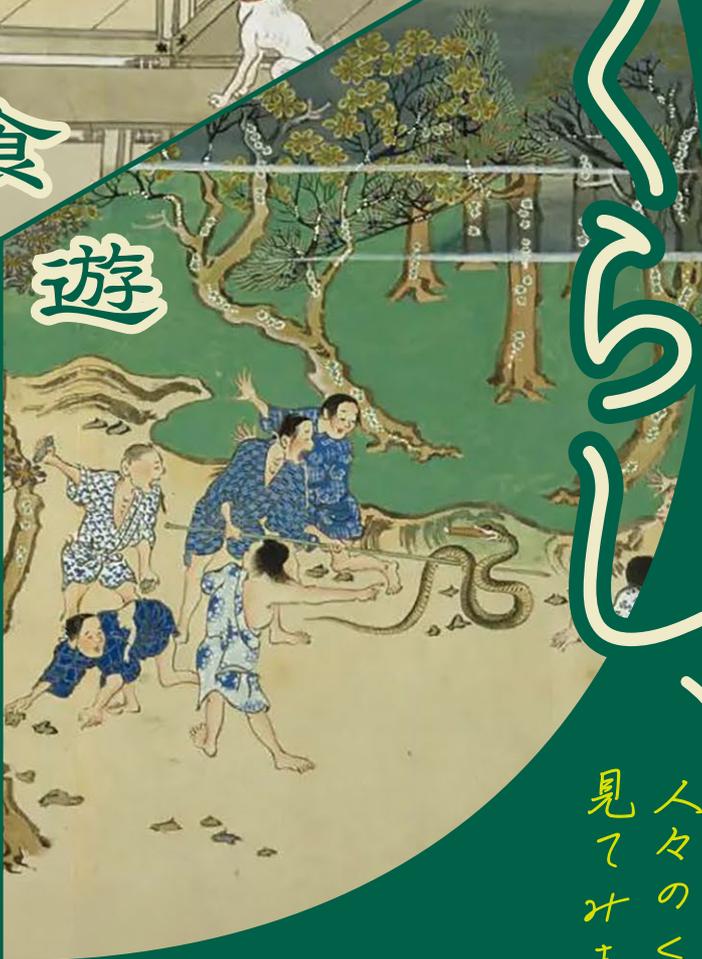
# 都のくらし



## 食

## 働

## 遊



— 備後国の場合 —

(「備前備後」国立国会図書館デジタルコレクションより)

奈良・平安時代の  
人々のくらし、  
見てみませんか？



古代人だって生きていた。でも、日々を暮らす古代人の姿は、なかなか見えてきません。なんとか、すこしでも、その姿をのぞき見してみたいと思います。

[講師]

奈良文化財研究所  
埋蔵文化財センター長

## 馬場 基氏

# 2025.9.21

13:30 - 16:00  
(受付開始 12:30)

定員  
100名

ジーベックホール 4F 中ホール (府中市文化センター)  
〒726-0004 広島県府中市府川町 70 番地



入場無料  
事前申込み不要

YouTube  
ライブで配信あり

配信用  
チャンネル  
二次元コード



※当日は会場に配信用カメラが入ります。参加者の皆さまが映り込む場合があります。あらかじめご了承ください。

13:30  
13:40~15:10  
15:10~15:25  
15:25~15:50  
16:00

開会  
講演 「都の暮らし、国府の暮らしー 備後国の場合ー」  
奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長 馬場基氏  
休憩  
質疑応答  
閉会

## 講師紹介



ば ば はじめ  
**馬場 基氏** 奈良文化財研究所  
埋蔵文化財センター長

1972年生まれ。東京大学文学部を卒業後、同大学院で学ばれたのち、奈良国立文化財研究所(当時)に入所され、現在は奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長を務められています。

専門は、日本古代史、木簡学で、特に発見された木簡などの出土文字資料を通じて、古代の生活や文化を軽妙な語り口で現代に伝える努力が続けられています。また、全国だるまさんがころんだ選手権の実行委員長を務めるなど、ユニークな活動も行っています。

### 【主要編著書】

『平城京に暮らす 天平びとの泣き笑い』吉川弘文館 2010年、『日本古代木簡論』吉川弘文館 2018年。

近年は、古代の食について三舟隆之氏と共同研究を行っており、共編で『古代の食を再現する みえてきた食事と生活習慣病』吉川弘文館 2021年、『古代寺院の食を再現する 西大寺では何を食べていたのか』吉川弘文館 2023年、『カツオの古代学 和食文化の源流をたどる』吉川弘文館 2024年があります。



洗濯をする女性たち

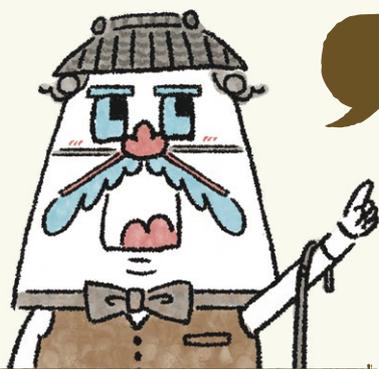


菜を摘む女性



家の周りの犬

(『志貴山縁起』国立国会図書館デジタルコレクションより)



### -ぐんじいプロフィール-

わしは、旧芦品郡役所庁舎じゃ。  
明治生まれの122さい♪  
「ぐんじい」と呼んでくれ!  
今は歴史民俗資料館になったんじゃ。

## 企画展「The GREAT JOURNEY in FUCHU リターンズ」 府中市歴史民俗資料館で開催中(～9月23日)

名古屋科学館で開催中の特別展「古代DNA—日本人のきた道—」では、府中市山ノ神1号古墳出土の女性人骨が展示されています。これに合わせて、府中市歴史民俗資料館では同時に発見された男性人骨を初公開中です。古墳時代の府中の人々について古代DNA研究の成果を通じて知る絶好の機会です。  
終了間近!ぜひお見逃しなく!



府中市歴史民俗資料館

住所 広島県府中市土生町 882-2

電話 0847-43-4646

休館日 祝日を除く月曜日

12月29日～1月3日

※9月22日は開館

9月24日は臨時休館

開館時間 午前10時～午後5時

### スポット国府展も開催中!

フォーラムきたら、こちらも!  
12/28まで木簡の複製パネルを展示中。  
ほかにも備後国府跡の発掘調査で  
出土した貴重な品々がたくさん  
展示されているのじゃ。

